

社協だより

令和4年12月15日(第145号)

発行者
 社会福祉法人
 高山村社会福祉協議会
 TEL 242-1220
 FAX 242-1222
 印刷所
 (株)オフセット

世代間交流 さつま芋掘り



芋掘りを楽しむ親子とシルバー人材センターの皆さん

10月11日(火)、フラワーセンター隣の「さつま芋畑」で、子育て支援センターを利用して親子の皆さんと、須高広域シルバー人材センター高山班の皆さんによる、世代間交流「さつま芋掘り」を行いました。

シルバー人材センターの役員さんが、長く伸びたさつま芋の蔓を刈り取り、黒マルチをはがしたところを、子どもたちが素手で、保護者の皆さんは、移植ゴテを使ってさつま芋を掘ると、大・中・小の様々な芋がどんどん出てきました。

子どもたちは「芋掘りががんばったよ、疲れた」、保護者の皆さんからは「子どもたちと一緒にできて楽しかった、久しぶりに土に触れることができてよかった」などの声が聞かれました。

収穫したさつま芋は、袋にいっぱい詰めて持ち帰っていただきました。

掲載記事

- 高山中学校高齢者疑似体験発表… 2
- 高山中学校福祉体験学習…………… 2
- デイサービスセンターの
レクリエーション活動… 3
- 高山村保健福祉総合センターの避難訓練… 3
- 社協からのお知らせ 他 …………… 4



社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で発行されています。

高山中学校紅葉祭

福祉緑化委員会の高齢者疑似体験発表

9月30日(金)、高山中学校で開催された紅葉祭に併せて、福祉緑化委員会による高齢者疑似体験発表が行われました。

最初に福祉緑化委員からは、高山村の高齢化率等について説明した後、3人の生徒が高齢者疑似体験の装具を身に付け、トランプで遊んでいる寸劇を披露しました。

寸劇の後、生徒たちは、手の動きや視力、聴力など、今の健康状態に比べ、どれほどの違いがあるかを発表しました。

発表の後、各学年のクラス代表の生徒は、高齢者疑似体験の装具を着け、マットの上を歩いたり、階段を昇降したり、車椅子を体験しました。

生徒の皆さんからは「介助者がもう少し気を配って



車椅子を体験する生徒の皆さん

欲しかった」などと言った感想が聞かれました。

介助者役の生徒の皆さんも、高齢者の方や障がいのある方の気持ちに寄り添い、お互い助け合うきっかけになったのではないのでしょうか。

高山中学校福祉体験学習

11月18日(金)、高山中学校2学年の生徒の皆さんが参加し高齢者疑似、アイマスク(視覚障がい)、車椅子の各体験学習を行いました。

高齢者疑似体験は、おもりやサポーター、手袋などを装着し、前かがみの姿勢で、手足の関節の動かしにくさや、指先の使いにくさを体験し、また、耳栓や特殊ゴーグル、白内障メガネを使用して、聴力・視力の低下を体験しました。



白杖で障害物を確認しながらの歩行

アイマスク(視覚障がい)体験は、アイマスクを付け、白杖で学校敷地内の階段を昇降したり、曲がり角や坂での歩行を体験しました。

アイマスクを装着した途端、「怖い」、「どっちに行けばいいの?」など様々な声が聞こえてきました。

白杖で障害物を確認しながら、介助者の腕をつかみ



アイマスク体験をする生徒の皆さん

歩いてみると、介助者のサポートや声掛けの大切さが伝わってきました。

車椅子体験では、車椅子で介助してもらうと、実際の速度以上に速く感じられ、少しの段差や溝でも車椅子に乗っている人に振動が強く伝わることや、舗装されていない道など車椅子の操作の難しさ、動作や移動の際に声掛けの大切さを感じ取っていました。

今回の福祉体験を通して、障がいのある方や高齢者の皆さんが感じる不自由さを考えることができ、困っている人を見かけた時は声を掛け、サポートするきっかけになればと感じました。



階段を慎重に下りる生徒

デイサービスセンターの レクリエーション活動

デイサービスセンターでは、毎日午睡後の午後2時30分から午後3時30分まで、「お話やレクリエーション、おやつ」の時間を設けています。

その日の新聞等からスタッフが話題を提供することで、利用者の皆さんから、

昔の思い出話が飛び出したり「へえ〜、そうなの〜」と驚かされたり、感心させられることが多々あります。その後、10分程度座ったままの状態で行った後に、担当スタッフが考えたレクリエーションの時間になります。

手指の体操をする利用者の皆さん



手指の機能訓練を目的とした壁画の飾り作りや、脳トレの早口言葉にチャレンジしたり、歴史や地図など様々な事柄からクイズを出題したり、ビンゴゲーム、すごろくやカルタ取り、豆まきなど、季節に合わせてのレクリエーションを行うなど一喜一憂しています。

利用者の皆さんは、それぞれ身体を動かすににくい部分もありますが、頭の中イメージすることでも十分リハビリテーションに繋がっているので、スタッフは

高山村保健福祉総合センターで 避難訓練を実施

避難訓練を実施

10月17日(月)、高山村保健福祉総合センターで、健康福祉課職員、社協職員及び就労継続支援B型事業所の利用者の皆さんを対象に、有事に備えて、「緊急通報・避難誘導・初期消火訓練」を実施しました。

緊急通報訓練は、衛生教習室からの出火を想定し、要救助者の有無を確認し、施設管理者に状況報告を伝達した後、総合センター非常口3ヶ所から屋外へ避難しました。

初期消火訓練は、消防設

備業者に消火栓の操作方法について説明を受けた後、館内消火栓を使いホースから放水しての訓練を行いました。初めて体験した職員からは、「水圧が強く、ぐつと足を踏ん張って筒先を持つていないと水圧に負けてしまう。訓練は大切です」との声が聞かれました。



消火栓の操作説明を受ける職員

松の湯倶楽部 紅葉狩り

松の湯倶楽部では、10月19日(水)から25日(火)までの一週間、山田温泉から山田牧場までの区間を、利用者の皆さんに車窓から紅葉狩りを楽しんでいただきました。

が見え、冬の訪れを感じながら、赤や黄色に染まった風景を楽しみました。例年に比べると、全体的には、やや赤色が少なく感じられました。利用者の皆さんには久しぶりに松川渓谷のドライブを楽しんで帰路についていただきました。

山田牧場から万座温泉の山頂には、雪化粧した山々



第27回高山村文化祭で 花の即売を実施しました

10月29日(土)、30日(日)の2日間、高山村公民館で開催された「第27回高山村文化祭」に、フラワーセンターで栽培したビオラ等の花苗の販売を行いました。

文化祭には、村文化協会、たかやま保育園・高山小学校児童生徒の皆さんの作品等が展示され、30日には舞台発表が行われました。来場された皆さんは、作品展や舞台発表の合間に、ビオラやパンジー、ハボタンなどを購入していただきました。

また、当日はウクライナ人道危機救護金と令和4年大雨災害義援金の募金活動も実施しました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

ウクライナ 人道危機救護金

10月末までの救護金
135,970円

令和4年大雨災害義援金

10月末までの義援金
27,927円

引き続きウクライナ人道危機救護金、大雨災害義援金を受け付けています。

皆様の温かいご協力をお願いいたします。



急募

デイサービスセンターの 運転員を募集します

仕事内容

デイサービスセンターから利用者宅への送迎運転業務

採用予定

若干名

勤務形態

臨時職員

月・火・水・木・金・土曜日(交代制により送迎可能な方)

勤務時間

午前8時15分～
午前9時45分
午後3時45分～
午後5時15分

松の湯倶楽部の 運転員を募集します

仕事内容

高山村保健福祉総合センターから利用者宅経由で高

山村高齢者交流センター松の湯荘への送迎運転業務

採用予定

1名

勤務形態

臨時職員

月・火・水・木・金曜日

勤務時間

午前8時30分～
午前10時00分
午後3時00分～
午後4時30分

デイサービスセンター・ 松の湯倶楽部共通

採用条件

高山村又は高山村近隣市町村在住で、普通自動車第1種運転免許取得者

雇用期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日(更新可能)

勤務条件

賃金 1,100円(時給) 月当たりの勤務日数

選考方法

日数に換算して15日以内面接にて選考

応募方法

令和5年2月28日(火)までに市販の履歴書に必要事項を記入のうえ、高山村社会福祉協議会事務局まで提出してください。(郵送可能)

お問い合わせ先

高山村社会福祉協議会事務局
☎242-11220

社協からのお知らせ

輪投げ・ 囲碁ボールを 貸出します

健康な心身を維持する上で、体を動かす事や人とのコミュニケーションを図ることは大切です。

社協では、誰でも手軽に楽しめる「輪投げ」と「囲碁ボール」の用具を貸出しています。

地区のイベントなどで活用してはいかがでしょうか。
貸出可能数

- ・ 輪投げ6セット
- ・ 囲碁ボール2セット

申込みお問い合わせは社協事務局まで

☎242-11220

ご考志

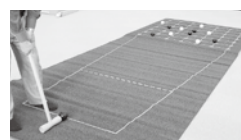
ご寄付に対し、心より御礼申し上げます。

匿名希望 様

衣類 カーディガン、コート等



輪投げ



囲碁ボール

年末年始休業の お知らせ

年末年始は各施設を休業とさせていただきます。

デイサービスセンター

12月31日(土)～1月3日(火)

松の湯倶楽部

12月29日(木)～1月3日(火)

就労継続支援B型事業所 (障がい者等共同作業所)

12月29日(木)～1月3日(火)

高齢者福祉センター

12月29日(木)～1月3日(火)

本誌掲載の記事について
のお問い合わせ・申込先は、
高山村社会福祉協議会
☎242-11220 まで